

主 題：
神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする

標 語

ペテロの第一と第二の手紙の主題は神の統治ですが、神の統治に関するすべてのことは、わたしたちをこれらの手紙の中心的な焦点と基本的な構造に戻すべきあるということを、わたしたちは見る必要があります。それは、わたしたちの満ち満ちた享受としての三一の神であって、神のエコノミーを遂行します。

ペテロの文書の尊さは、彼がクリスチャン生活と神の統治を結合して、クリスチャン生活と神の統治が、対になって並行することを啓示していることにあります。

「あらゆる恵みの神」、すなわち信者たちをご自身の永遠の栄光の中へ召した方は、彼らの苦難を通して、彼らを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけてくださいます。この「あらゆる恵み」とは、「神の真の恵み」であり、信者たちはこの恵みの中へと入り、その中に立つべきです。

わたしたちはキリストにある信者として、わたしたちの原型としてのキリストの複製となることができ、キリストをわたしたちの魂の牧者として経験し、享受することができます。

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 1

神のエコノミーのための神の統治

聖書：Ⅰペテロ 1:2-3, 5, 10-12, 20. 2:1-5, 9. 3:4. 4:14. 5:10.

Ⅱペテロ 1:4. 3:13, 18

I. ペテロの手紙の主題は、神の裁きを伴う神の統治です：

- A. 神の裁きは天使たちから始まり(Ⅱペテロ 2:3-4)、旧約では各世代の人を経過しました(5-9 節)。
- B. 新約時代、裁きは、神の家から始まり(Ⅰペテロ 1:17. 2:23. 4:6, 17)、そして主の日の到来まで継続します(Ⅱペテロ 3:10)。それは、千年王国の前には、ユダヤ人、信者たち、異邦人の裁きの日となるでしょう(12 節)。
- C. 千年王国の後には、人と悪鬼を含めてすべての死人が裁かれて滅びます(Ⅰペテロ 4:5. Ⅱペテロ 3:7)。また天と地は火によって燃え尽きます(10 節後半, 12 節)。
- D. さまざまな裁きの結果は同じではありません。ある裁きの結果は訓練的な取り扱いであり、あるものは経綸^{けいりんじょう}上の懲らしめであり、あるものは永遠の滅びです——Ⅱペテロ 2:1, フットノート 5 の(2)。
- E. しかしながら、このすべての裁きによって、主なる神は宇宙全体を清掃し、浄化されるでしょう。それは、神が喜びのために、彼の義で満ちた新しい宇宙のために(3:13)、新しい天と新しい地を持たれるためです。
- F. 神の統治上の裁きは、ダニエル書においても見ることができます：
 - 1. ネブカデネザルの「心が高ぶり、彼の霊が傲慢^{ごうまん}になって、高慢に振る舞ったので、彼はその王座から退けられ、栄光は彼から取り去られました」(5:20)。ネブカデネザルの王国は、「天が支配するのを[彼が]知るようになれば」、彼に確保されると、神は言いました(4:26. 5:21)。
 - 2. ネブカデネザルの末であるベルシャザルはこの事をすべて知っていましたが、神の御前での彼の酩酊^{めいてい}は、神の聖に対する侮辱であったので、ダニエルは彼に次のように告げました、「あなたの息と、あなたのすべての道がその手にある神を尊びませんでした」(22-23 節)。こういうわけで、彼の王国は「分裂し、メデア人とペルシャ人に与えられ」ました(28 節)。
- G. こういうわけで、ペテロがわたしたちに告げているのは、わたしたちが「寄留の時を、畏れのうちに過ご」すべきであるということです(Ⅰペテロ 1:17)。ペテロがまた言っているのは、わたしたちが「神の力ある御手の下にへりくだらされ」ている必要があり、「それは時至って、彼があなたがたを高く上げてくださるため」であるということです(5:6)。神の懲らしめに

において、神のへりくだらせる御手によって進んで低くされることは、わたしたちが神の高く上げる御手によって高くされるための前提条件であり、またわたしたちが、わたしたちの命の供給としての三一の神ご自身を享受するための前提条件であって、それは、へりくだらされた信者の中で増し加わります(5節、1:2、4:10)。

- H. 主を畏れることは、彼を畏れ敬うことであり、またあらゆることで主を顧慮し尊重し(詩 86:11、イザヤ 11:2、箴 1:7、3:5-10)、彼がわたしたちを創造されたすばらしい神であることを、決して忘れないことです(イザヤ 43:7)。主を畏れることは、わたしたちが悪を行なうことをやめさせます。主を畏れることはまた、わたしたちが他の人たちの苦難によって触れられ、彼らにあわれみと深い同情を示すようにさせます。

II. ペテロの第一と第二の手紙の主題は神の統治ですが、これはこれらの手紙の中心的な焦点と基本的な構造ではありません。神の統治に関するすべてのことは、わたしたちをこれらの手紙の中心的な焦点と基本的な構造に戻すべきです。それは、わたしたちの満ち満ちた享受としての三一の神であって、神のエコノミーを遂行します：

- A. ペテロの第一と第二の手紙の中心的な焦点と基本的な構造は、力を尽くして活動する三一の神が彼のエコノミーの中で活動して、彼の選ばれた者たちを、三一の神の満ち満ちた享受の中へともたらすということです。心の中の隠れた人であるわたしたちの人の霊と、栄光の霊でありキリストの霊である神の霊は、わたしたちが神の神聖な性質の中で、わたしたちの分け前としての神にあずかる手段です—— I ペテロ 1:2-3, 5, 11、2:1-3, 5, 9, 3:4, 4:14, 5:10、II ペテロ 1:4。
- B. ペテロの第一と第二の手紙の中心的な焦点と基本的な構造とは、三一の神が活動して彼の全体的な救いを完成し、それによってわたしたちが再生され、彼の言葉で養われ、成長し、造り変えられ、建造されて、彼が住まいを持ち、わたしたちが栄光化されて彼を表現することです—— I ペテロ 1:23, 2:1-5, 9。
- C. ペテロは大胆になって、初期の使徒たち、例えばヨハネ、パウロ、彼自身が(彼らの表現方法、用語、発言、観点、彼らの教えを提示する方法は異なっていますが)、同じ唯一の務め、すなわち新約の務めにあずかっていたことを承認しました—— II ペテロ 1:12-21, 3:2, 15-16、II コリント 3:6, 8-9, 4:1。
- D. そのような務めは、その務めの中心(焦点)としての、三一の神の具体化である、すべてを含むキリストを人々に供給します。この三一の神は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の手順を経過した後、キリストの贖い

を通して、また聖霊の活動によって、ご自身を彼の贖われた民の中へと、彼らの唯一の命の分け前として、彼らの命の供給またすべてとして分与します。そして御父の永遠の定められた御旨にしたがって、キリストのからだとしての召会を建造し、それは三一の神の完全な表現、豊満において究極的に完成します——使徒 2:36. 3:13, 15. 10:36. I ペテロ 1:2-3, 18-19, 23. 2:2-5, 7, 9, 25. 3:7. 4:10, 17. 5:2, 4, 10. II ペテロ 1:2-4. 3:18。

Ⅲ. ペテロは、わずか八つの章から成る彼の二つの手紙で、神のエコノミー全体を、世の基の置かれる前の過去の永遠から (I ペテロ 1:2, 20)、将来の永遠における新しい天と新しい地まで (II ペテロ 3:13) 述べています。彼は神のエコノミーに関する極めて重要な事柄を、預言者たちが予言し、使徒たちが宣べ伝えたことに関して (I ペテロ 1:10-12)、以下の四つの面から明らかに示しています：

A. 三一の神の面から：

1. 父なる神は、永遠において彼の予知にしたがって人々を選び (1-2 節. 2:9)、彼らを神の栄光の中へ召しました (II ペテロ 1:3)。
2. キリストは、世の基の置かれる前から神によってあらかじめ知られていましたが、時代の終わりに現されました (I ペテロ 1:20)。そして彼は神の選ばれた人たちを贖い、救いました (18-19, 2 節)。それは彼の身代わりの死により (2:24. 3:18)、彼の命における復活と力における昇天を通してです (1:3. 3:21-22)。
3. その霊は、天から遣わされ、キリストが贖い救った者たちを聖別し、きよめました (1:2, 12, 22. 4:14)。御使いたちは、これらの事柄をうかがい知ろうと願っています (1:12)。
4. 三一の神の神聖な力は、命と敬虔^{けいけん}にかかわるすべての事柄を贖われた者に備え (II ペテロ 1:3-4)、完全な救いへと、彼らを守っています (I ペテロ 1:5)。
5. 神はまた、彼のいくつかのさまざまな統治上の裁きによって (1:17. 2:23. 4:5-6, 17. II ペテロ 2:3-4, 9. 3:7)、彼らを取り扱います (I ペテロ 5:6)。そして彼のあらゆる恵みによって、彼らを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけます (I ペテロ 5:10)。
6. 主は彼らに対して辛抱強くあります。それは、彼らがみな機会を得て悔い改め、救いへと至るためです——II ペテロ 3:9, 15。
7. それからキリストは栄光の中で現れ、彼を愛する者たちに彼の完全な救いを与えます——I ペテロ 1:5, 7-9, 13. 4:13. 5:4。

B. 信者たちの面から：

1. 信者たちは神の所有として、神に選ばれ (1:2. 2:9)、彼の栄光と美德によって召され (9 節. 3:9. II ペテロ 1:3, 10)、キリストによって贖われ (I ペテロ 1:18-19)、神によって彼の生ける言葉を通して再生され (3, 23

節)、キリストの復活を通して救われました(3:21)。

2. 彼らは今や神の力によって守られており(1:5)、きよめられて互いに愛し合っており(22 節)、言葉の乳で養われることによって成長しつつあり(2:2)、命の中で霊的な美德を発展させつつあり(Ⅱペテロ 1:5-8)、徐々に造り変えられて霊の家に建造されていきながら、聖なる祭司の体系となって神に仕えます(Ⅰペテロ 2:4-5, 9)。
 3. 彼らは神の選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、彼の固有の所有のための特別な民であって、彼の美德を表現します——9 節。
 4. 彼らは神の統治上の裁きによって取り扱われ(1:17, 2:19-21, 3:9, 14, 17, 4:6, 12-19, 5:6, 9)、卓越した態度と敬虔の中で聖なる生活をして神に栄光を帰し(1:15, 2:12, 3:1-2)、長老たちの模範的な牧養の下で(5:1-4)、神のさまざまな恵みの良い家令として供給し、キリストを通して神の栄光が現されるようにし(4:10-11)、主の到来を待ち望み、また早めています(1:13, Ⅱペテロ 3:12)。それは、彼らが豊かに供給されて、主の永遠の王国へと入るためです(1:11)。
 5. さらに、彼らは永遠において、義が住む、新しい天と新しい地を待ち望んでおり(3:13)、わたしたちの主また救い主イエス・キリストの恵みと知識の中で、絶えず成長しつつあります(18 節)。
- C. サタンの面から：サタンは信者たちの敵である悪魔であり、ほえたける獅子のように、歩き回って、だれかを食い尽くそうと捜し求めています——Ⅰペテロ 5:8。
- D. 宇宙の面から：
1. 墮落した天使は罪定められて、永遠の裁きを待っています(Ⅱペテロ 2:4)。古代の不敬虔な者たちの世界は洪水によって滅ぼされました(5 節, 3:6)。不敬虔な者たちの町は灰となりました(2:6)。背教の偽教師たちと異端的なあざける者たち、また邪悪な生活をする人類はみな、裁かれて滅びへと至ります(1, 3, 9-10, 12 節, 3:3-4, 7, Ⅰペテロ 4:5)。天と地は焼かれます(Ⅱペテロ 3:7, 10-11)。すべての死んだ者と悪鬼は裁かれます(Ⅰペテロ 4:5)。
 2. それから、新しい天と新しい地が新しい宇宙として現れ、その中に、神の義が永遠に住みます——Ⅱペテロ 3:13, 参照、イザヤ 1:26。

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 2

神の統治の下でクリスチャン生活をする

聖書：Ⅰペテロ 1:17、2:21-24、4:17-19、5:6

I. ペテロの第一と第二の手紙は、神の宇宙的な統治についてです：

- A. ペテロの第一の手紙の主題は、神の統治の下にあるクリスチャン生活です。特に神が彼の選びの民を取り扱うことでの、神の統治を見せています——1:2。
- B. ペテロの第二の手紙の主題は、神聖な備えと神聖な統治であり、これは神がわたしたちを統治しているとき、わたしたちが必要とするものをすべて供給することを見せています——1:1-4、3:13。
- C. 神は裁くことによって統治します。神の裁きは彼の統治を遂行するためです——Ⅰペテロ 1:17、4:17：
 - 1. ペテロの第一と第二の手紙は神の統治に関するものであるので、これらの手紙で神の裁きと主の裁きが、主要な項目の一つとして繰り返し述べられています——Ⅰペテロ 2:23、4:5-6、17、Ⅱペテロ 2:3-4、9、3:7。
 - 2. 各種の裁きを通して、主なる神は全宇宙を一掃し、きよめて、新しい天と新しい地を持ち、彼の義に満ちた新しい宇宙とならせ、彼の喜びとします——13節。
- D. Ⅰペテロ第1章17節の裁きは、御父が執行する裁きであり、それは将来の裁きではなく、神が現在、日ごとに、統治上、彼の子供たちを対処する裁きです：
 - 1. 御父はわたしたちを再生して、聖なる家庭を生み出しました。その聖なる家庭とは、聖なる御父と聖なる子供たちです——3、15、17節。
 - 2. 聖なる子供たちとして、わたしたちは聖なる生活様式の中を歩くべきです(15-16節)。そうでないと、父なる神は彼の統治において裁き主となり、わたしたちの聖でないことを対処します(4:15-17、ヘブル 12:9-10)。
- E. 神の統治における懲らしめる裁きは、神の家から始まります——Ⅰペテロ 4:17：
 - 1. 神は彼の統治に符合しないすべてのものを裁きます。ですから、この時代にわたしたち、神の子供たちは、神の日ごとの裁きの下にいます——1:17。
 - 2. 神は彼の統治上の管理の裁きの中で、烈火のような苦難を用いて信者たちを対処します。この裁きは彼ご自身の家から始まります——4:12、

17。

3. この裁きの目的は、わたしたちが霊の中で神にしたがって生きようになることです——6 節。

II. ペテロの文書の尊さは、彼がクリスチャン生活と神の統治を結合して、クリスチャン生活と神の統治が、対になって並行することを啓示していることにあります——I ペテロ 1:17. 2:21, 24. 3:15. 4:17. 5:5-8:

A. 三一の神はキリストの中で長い過程を経過して、命を与える霊と成り、わたしたちの中に住みました。これはわたしたちのクリスチャン生活のためです——ヨハネ 1:14. 14:17. I コリント 15:45 後半. 6:17。

B. それと同時に、三一の神はなおも宇宙の創造主であり、またその支配者です——I ペテロ 4:19。

C. わたしたちは神から生まれて霊の命を持ち、新創造となりましたが、なおも旧創造の中にあります——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6. II コリント 5:17:

1. こういうわけで、わたしたちは神の統治上の対処を必要とするのです——I ペテロ 1:17。

2. クリスチャンの命が成長するために、わたしたちは神の統治の取り扱いを必要とします——2:2. 4:17. II ペテロ 1:5-7。

III. 主イエスは地上にいたとき、完全に神の統治の下にある人の生活をし、彼に関するすべてのことを神の統治にゆだねました——ヨハネ 6:38. I ペテロ 2:21-23:

A. 主はご自身のすべての辱めと傷を、統治の中で義しく裁く方、義なる神にゆだね続け、ご自身をこの方に服従させました。主はこの義なる方に信頼し、この方の統治を承認しました——23 節。

B. 神が人としてのキリストに助言したとき、キリストの内なる各部分は神との接触を通して、神と一であり、彼を教えました——詩 16:7. イザヤ 50:4。

IV. わたしたちはキリストにある信者、また神の子供たちとして、神の統治の下にあるクリスチャン生活をすべきです——ヨハネ 3:15. 1:12-13. I ペテロ 4:13-19. 5:6-8:

A. ペテロの手紙が啓示しているキリストは、神が苦難を通して執行する統治上の対処を、わたしたちが受け入れることができるようにしてくださる方です——I ペテロ 1:6-8. 2:3-4, 19, 21-25. 3:18, 22. 4:1, 15-16. 5:8-9。

B. わたしたちは寄留の時を、聖なる畏れのうちに過ごすべきです。この聖なる畏れとは、健康で真剣な用心深さのことであり、わたしたちを導いて、すべての生活様式において聖とならせます——1:15, 17。

- C. わたしたちは、神の統治を執行する力ある御手の下にへりくだらされているべきです——5:6：
1. 6節で、「神の力ある御手」は、神の行政を執行する御手を指しており、特に彼の裁きにおいて見られます——1:17. 4:17。
 2. 神の力ある御手の下にへりくだられるとは、神によってへりくだるようになされることです。しかしながら、わたしたちは神の働きと協力し、進んで神の力ある御手の下にへりくだられ、低くされなければなりません——5:6。
- D. わたしたちは自分の魂を、信実な創造主にゆだねるべきです——4:19：
1. 神はわたしたちの魂を保護することができ、彼の愛する信実な顧みは、彼の統治上の管理の中の公正を伴います。
 2. 神は彼の統治においてわたしたちを裁いているとき、信実に彼の愛の中でわたしたちを顧みています。わたしたちは彼の取り扱いの裁きを受けているとき、自分の魂をわたしたちの創造主の信実な顧みにゆだねるべきです——マタイ 10:28. 11:28-29。
- E. キリストの死の中で、わたしたちは罪に死にました。それによってキリストの復活の中で、わたしたちは神の統治の下で義に生きます——Ⅰペテロ 2:24：
1. 神の統治は義の上に確立されます(詩 89:14 前半)。彼の統治の下で生きる神の民として、わたしたちは義なる生活をしなければなりません。
 2. 「義に生きる」という表現は、神の統治上の要求を満たすことと関係があります——Ⅰペテロ 2:24：
 - a. わたしたちが救われたのは、神の統治の下で正しく生きるため、すなわち、神の統治の義なる要求にふさわしく生きるためです。
 - b. わたしたちはキリストの死の中で、罪から分離され、彼の復活の中で、生かされました。それは、わたしたちがクリスチャン生活の中で、自然に神の統治の下で義に生きるためです——ローマ 6:8, 10-11, 18. エペソ 2:6. ヨハネ 14:19. Ⅱテモテ 2:11。

**神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする**

メッセージ 3

ペテロの手紙における命と建造

聖書：Ⅰ ペテロ 1:8, 2:1-5, 9, Ⅱ ペテロ 1:3-4

I. ペテロの手紙と全聖書の中心思想は、命と建造です——Ⅰ ペテロ 1:23, 2:2-5, Ⅱ ペテロ 1:3-4:

- A. 命とは、キリストの中に具体化され、その霊として実際化された三一の神が、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの享受となることです。建造とは、召会、キリストのからだ、神の霊の家であり、それは神の拡大また拡張であって、神を団体的に表現します——創 2:8-9, 22, マタイ 16:18, コロサイ 2:19, エペソ 4:16。
- B. キリストは命の種として、わたしたちの内側の命の力です。この力は、命と敬虔にかかわるすべての事柄を、わたしたちにすでに与えています。それは命の成長と発展を通して召会を建造し、命の豊富な余剰、また命の表現となるためです——Ⅱ ペテロ 1:3-4, 参照、使徒 3:15, 詩歌 154 番 4 節。

II. 神の目標は、生ける石で建造された霊の家を持つことです——Ⅰ ペテロ 2:5:

- A. わたしたちの命として、キリストは朽ちない種です。神の建造のために、彼は生ける石です——1:23, 2:4。
- B. ペテロの悔い改めの時、主は彼に、ペテロ、すなわち石という新しい名を与えました(ヨハネ 1:42)。ペテロがキリストに関する啓示を受けたとき、主はさらに、ご自身が岩、すなわち石であることを啓示しました(マタイ 16:18)。この二つの出来事によって、ペテロは、キリストと彼の信者たちが神の建造のための生ける石であるという印象を受けました(Ⅰ ペテロ 2:4-8, 使徒 4:11, イザヤ 28:16, ゼカリヤ 4:7)。
- C. わたしたち、キリストにある信者は、再生と造り変えを通して、キリストの複製としての生ける石となります。わたしたちは土くれから創造されましたが(ローマ 9:21)、再生の時、神聖な命の種を受けました。その種はわたしたちの中で成長することによって、わたしたちを造り変えて生ける石とします(Ⅰ ペテロ 2:5)。

III. 神の建造は生きているので、成長します。神の家としての召会を真に建造することは、信者たちの命における成長によります——エペソ 2:21:

- A. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは主を愛し、わたしたちの霊に注意し、何ものにもまさってわたしたちの心を見守って、命の道にとどまらなければなりません——Ⅰ ペテロ 1:8, 2:2, 5。

3:4, 15. 箴 4:18-23. 申 10:12. マルコ 12:30.

- B. キリストの命がわたしたちの中で妨げられないことを願うなら、わたしたちは十字架の砕き、すなわち、栄光の霊としてのキリストのすべてを含む霊の中の、キリストの殺す死を経験しなければなりません。それによって、わたしたちの中の以下の障害は対処され、取り除かれることができます—— I ペテロ 1:11, 4:14. 詩 139:23-24:

1. クリスチャンであるとは、キリスト以外の何ものも、わたしたちの目標としないことを意味します。この事に対する障害は、命の道を知らず、キリストをわたしたちの命としないことです——マタイ 7:13-14. ピリピ 3:8-14. コロサイ 3:4. ローマ 8:28-29.
2. 第二の障害は偽善です。人の霊性が決定されるのは、外側の現れによってではなく、いかにキリストに注意を払うかによってです——マタイ 6:1-6, 15:7-8. ヨハネ 5:44, 12:42-43. 参照、ヨシュア 7:21.
3. 第三の障害は反逆です。わたしたちは事を行なうことにとっても積極的で熱心であっても、わたしたちの内側の生けるキリストを軽視することによって、なおも彼を監禁し、不従順であるかもしれません——レビ 14:9, 14-18, 11:1-2, 46-47. ローマ 16:17. I コリント 15:33.
4. 第四の障害は、わたしたちの天然の能力です。もしこれらの天然の能力がわたしたちの中で砕かれないままであるなら、キリストの命にとって問題となります——2:14-15, 3:12, 16-17. ユダ 19 節. 参照、レビ 10:1-2.

- C. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは、「すべての悪意と、すべての悪巧みと偽善とねたみと、すべての悪口とを捨て去らなければなりません—— I ペテロ 2:1.

- D. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは神の悪巧みのない言葉の乳で養われなければなりません—— I ペテロ 2:2:

1. 悪巧みのない乳は、神の言葉の中で伝達されて、わたしたちの理性のある思いの理解を通してわたしたちの内なる人を養い、わたしたちの知性の機能によって吸収されます——ローマ 8:6. 参照、申 11:18.
2. 言葉の養う乳は、思いを通して魂のためですが、それは最終的に、霊を養い、わたしたちを魂的ではなく霊的にし、神の霊の家として建造されるように適合させます——参照、I コリント 2:15.
3. 言葉の乳を享受し、神と言葉の中の彼の良きことを味わうために、わたしたちはすべての祈りによって彼の言葉を受け取って、彼の言葉を思い巡らさなければなりません—— I ペテロ 2:3. エペソ 6:17-18. 詩

119:15, 23, 48, 78, 99, 148:

- a. 言葉を思い巡らすとは、注意深く考察することによってそれを味わい、享受することです——Ⅰペテロ 2:2-3. 詩 119:103。
 - b. 祈りも、自らに語ることも、主を賛美することも、言葉を思い巡らすことに含まれます。言葉を思い巡らすことは、「反芻^{はんすう}する」こと、多くの再考慮を通して、神の言葉を受け取ることです——レビ 11:3。
4. 言葉の中の養う乳としてのキリストで養われることによって、わたしたちは成長して完全な救いへと至り、造り変えを通して円熟へと至り、栄光化されます。Ⅰペテロ第2章2節の救いは、神の建造のための造り変えの事柄です。
5. わたしたちは、わたしたちを養う「乳・キリスト」を享受し、「石・キリスト」としての彼をもって造り変えられ、「からだ・キリスト」として、神の霊の家として建造されて、聖なる祭司の体系となります——2-4節. Ⅰコリント 12:12-13。

Ⅳ. 聖なる祭司の体系、すなわち組み合わされた祭司団は、建造された霊の家です。神は彼の住まいのための霊の家と、彼に仕えるための祭司団、すなわち団体の祭司の体系を求めています——Ⅰペテロ 2:5. 出 19:5-6:

- A. わたしたちは、「選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、所有として獲得された民です」(Ⅰペテロ 2:9)。「選ばれた種族」は、わたしたちが神を源とすることを意味し、「王なる祭司の体系」は、わたしたちが神に仕えることを意味し、「聖なる国民」は、わたしたちが神のための共同体であることを意味し、「所有として獲得された民」は、わたしたちが神にとって尊いことを意味します。
- B. わたしたちの団体的な祭司の奉仕は、わたしたちを暗やみから、驚くべき光の中へ召してくださった方の美德を福音として告知らせることです(9節)。それによって、わたしたちは「イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげ」ます(5節後半)。この霊のいけにえは以下のものです:
1. 旧約の予表のすべてのいけにえの実際であるキリスト。全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物などです——レビ第1章—第5章。
 2. わたしたちが福音を宣べ伝えることによって救われた、キリストの肢体としてささげられた罪人——ローマ 15:16。
 3. わたしたちの体、わたしたちの賛美、わたしたちが神のために行なう事——12:1. ヘブル 13:15-16. ピリピ 4:18。

C. わたしたちの主に対する祭司の奉仕はすべて、「測りなわの神」としての彼を源としていなければならず、わたしたち自身からであってはなりません。わたしたちの祭司の奉仕はすべて、彼の導きと彼の制限にしたがっており、彼の死をわたしたちの内側で働かせなければなりません。それによって、彼の復活の命はわたしたちを通して、他の人の中へと分け与えられることができます——Ⅱコリント 10:13．ヨハネ 12:24．21:15-22．サムエル下 7:18，25，27．ルカ 1:37-38．詩歌 650 番。

©2024 Living Stream Ministry

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 4

キリストの複製となり、キリストをわたしたちの魂の牧者として経験する

聖書：Ⅰペテロ 2:21-23, 25, マタイ 11:28-30, ピリピ 1:27, 2:2

Ⅰ. わたしたちはキリストにある信者として、わたしたちの原型としてのキリストの複製となることができます——Ⅰペテロ 2:21：

- A. 神の統治の下での主イエスの生活は原型であり、わたしたちが彼の複製となることによって、彼の足跡に従うようにします——21-23 節, エペソ 4:20-21。
- B. Ⅰペテロ第 2 章 21 節の「原型」のギリシャ語は、文字を教えるときに使われる原本、すなわち、学生が字を書くことを習うとき、文字をなぞるのに使う書き写し、手本を示しています：
 - 1. 主イエスがわたしたちの前に置いた彼の生活は、彼の足跡をたどり、それに従うことによって写す手本です——マタイ 11:28-30。
 - 2. 神の意図は、わたしたちが自分自身の努力によってキリストを模倣しようとするものではありません。わたしたちが必要とするのは模倣ではなく、複製です——ローマ 8:29, Ⅱコリント 3:18。
- C. わたしたちは、神聖な命の豊富を含む過程によって、キリストの複製、キリストのコピーとなる必要があります。この過程が完成するとき、わたしたちはキリストの複製となります——ヨハネ 3:15, エペソ 3:8。
- D. ゼロックスコピーをすることは、ペテロが言う、キリストはわたしたちの原型であることの意味を説明するのに用いることができます。
- E. わたしたちの原型であるキリストの複製となるために、わたしたちはキリストを、わたしたちの中に生きる方として、わたしたちの中に形づくられる方として、わたしたちの心の中にご自身のホームを造る方として、経験する必要があります——ガラテヤ 2:20, 4:19, エペソ 3:16-17 前半：
 - 1. 新約は、キリストがわたしたちの内なる存在と深く関係があることを啓示しています——ガラテヤ 1:16, コロサイ 3:10-11。
 - 2. 霊なるキリスト、すなわち命を与える霊としてのキリストは、わたしたちの中に生きています——Ⅰコリント 15:45 後半, ガラテヤ 2:20：
 - a. 神のエコノミーとは、「わたし」がキリストの死の中で十字架につけられ、キリストが彼の復活の中でわたしたちの中に生きることです——ヨハネ 14:19。
 - b. わたしたちは主と一つ霊であり、彼と一つ命を持っています。そして今や彼と一つパースンとなるべきです——Ⅰコリント 6:17, コロサイ

3:4. ピリピ 1:21 前半。

- c. キリストはその霊としてわたしたちの中に住んでいるので、わたしたちは彼に内側で生きていただく必要があります——ヨハネ 14:16-19. ガラテヤ 2:20。

3. キリストがわたしたちの中に形づくられるとは、キリストにわたしたちの中で完全に成長していただくことです——4:19：

- a. わたしたちが悔い改めて彼を信じたとき、キリストはわたしたちの中へと生まれました。それから、彼はクリスチャン生活において、わたしたちの中に生きています。最終的に、彼はわたしたちの円熟のとき、わたしたちの中に形づけられます——ヨハネ 1:12-13. 3:15. ガラテヤ 2:20. 4:19。
- b. キリストがわたしたちの中に形づくられるとは、すべてを含む霊にわたしたちの内なる存在のあらゆる部分を占有していただき、キリストにわたしたちの中で完全に成長していただくことです——コロサイ 2:19. エペソ 4:15-16。
- c. キリストがわたしたちの中に形づくられることは、わたしたちが有機的にキリストで構成されつつあることを暗示します——コロサイ 3:10-11。
- d. ガラテヤ第4章19節で「形づくられる」ことは、Ⅱコリント第3章18節の「かたち」に符合します。キリストはわたしたちの中に形づくられ、わたしたちは彼のかたちにおいて彼を表現します。

4. わたしたちの中に生き、わたしたちの中に形づくられつつあるキリストは、わたしたちの心の中にご自身のホームを造りつつあります——エペソ 3:16-17 前半：

5. キリストがわたしたちの中に生き、わたしたちの中に形づくられ、わたしたちの心の中にご自身のホームを造るとき、わたしたちはキリストの複製となり、神の団体の表現となります——ローマ 8:29. 12:4-5. 啓 21:2。

II. わたしたちはキリストの複製となる時、キリストをわたしたちの魂の牧者として経験し、享受することができます——Ⅰペテロ 2:25. マタイ 11:28-30. ピリピ 1:27. 2:2：

A. 霊なるキリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの内側の状態を監督し、わたしたちの内なる存在の状況を顧みます：

1. キリストの有機的な牧養は、おもにわたしたちの魂を顧みることです——詩 23:3。

2. キリストはわたしたちの魂の益を顧みることによって、またわたしたちの内なる存在の状態を監督することによって、わたしたちを牧養します——参照、ヘブル 13:17。

3. このような牧養は、内側の、内在的で、有機的な慰めです。

B. わたしたちの魂はとても複雑です。ですからわたしたちは、霊の中の命を与える霊であるキリストが魂においてわたしたちを牧養し、わたしたちの思い、感情、意志を顧み、わたしたちの問題、必要、傷を顧みてくださることを必要とします——ヨハネ 14:16-17. I コリント 15:45 後半. 6:17:

1. キリストはわたしたちの霊なる牧者として、わたしたちを霊の内側から顧みます。

2. 彼の牧養はわたしたちの霊から始まり、わたしたちの魂のあらゆる部分に拡大します。

3. キリストはわたしたちの霊から魂のすべての部分に届き、優しい、有機的な、すべてを含む方法でわたしたちを顧みます。

C. キリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂を回復します——詩 23:3 前半:

1. わたしたちの魂が回復されるとは、わたしたちが復興されるという意味です。

2. わたしたちの魂を回復することは、更新することと造り変えることも含んでいます——ローマ 12:2. II コリント 3:18。

D. 主はわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂に安息を与えます——マタイ 11:28-30:

1. 主は、律法を守ろうとして努力したり、どんな働きにおいても成功しようと奮闘したりしている者たちを、ご自身に来て、安息するように召しています——28 節。

2. この安息は、律法や宗教の下にある、あるいは働きや責任の下にある労苦と重荷から解放されることを指しているだけでなく、完全な平安と全き満足をも指しています。

3. 主のくびきを負うとは、御父のみこころを取ることです——12:50。

4. 主はそのような生活をし、御父のみこころによって拘束され、御父のみこころを顧慮しました(ヨハネ 4:34. 5:30. 6:38)。彼は完全に御父のみこころで満足し、心の中で安息していました。

5. 主のくびきを負い、彼から学ぶことによってわたしたちが見いだす安息は、内側の安息、すなわち、わたしたちの魂のための安息です——マタイ 11:29-30。

E. 主がわたしたちの魂を牧養し、わたしたちの魂を回復するとき、わたしたちはキリストを経験するだけでなく、またキリストを享受します——ピリピ 2:2. 3:1 前半：

1. キリストを経験することは、おもにわたしたちの霊の中の事柄ですが、キリストを享受することは、わたしたちの魂の中にあります——1:27. 2:2。
2. わたしたちの魂に問題があるなら、わたしたちはキリストを経験しても、キリストを享受していないかもしれません。
3. キリストに関して、わたしたちの味わいはおもにわたしたちの魂にあります。こういうわけで、キリストを享受するために、わたしたちは主にわたしたちの魂のあらゆる部分を、特にわたしたちの思いを牧養していただくことを必要とするのです。

神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 5

ペテロの手紙における恵み

聖書：Ⅰ ペテロ 1:2 後半, 10, 13. 2:19-20. 3:7. 4:10. 5:5, 10, 12.

Ⅱ ペテロ 1:2. 3:18

- I. 恵みとは、わたしたちの享受としてのキリストご自身です——恵みとは、復活したキリストが命を与える霊と成って、ご自身を無代価でわたしたちに与え、わたしたちのすべてとなり、わたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちのために、すべてのことを行なうことです——ヨハネ 1:14, 16-17. イザヤ 55:1. Ⅱ コリント 1:8-9, 12. ガラテヤ 2:20. 参照、Ⅰ コリント 15:10。
- II. 恵みの増し加わりとは、恵みがわたしたちの日常生活の中で、神とわたしたちの主イエスを知る全き知識の中で、増し加わることです。神のエコノミーにおける神の恵みは、豊富で、増し加わり、満ちあふれます——Ⅰ ペテロ 1:2 後半. Ⅱ ペテロ 1:2. ヨハネ 1:16. エペソ 1:6-8. 2:7. ローマ 5:17, 21. Ⅰ テモテ 1:14. 啓 22:21：
- A. 恵みは、わたしたちの苦難、制限、弱さを通してわたしたちに増し加えられます。恵みとは、わたしたちの重荷を負う方としてのキリストです。わたしたちは重荷を持てば持つほど、恵みとしてのキリストを経験する機会をますます多く持ちます——Ⅱ コリント 12:7-9. 参照、1:12, 15。
- B. 恵みとしての主に対する享受は、彼を愛する者と共にあります——エペソ 6:24. ヨハネ 21:15-17. Ⅰ ペテロ 1:8。
- C. 主を恵みとして、彼の神聖な性質と共に享受することは、わたしたちが彼の恵みの言葉を受け入れ、その中に住むことによります。この言葉は、彼の尊く際立って偉大な約束すべてを含みます——使徒 20:32. Ⅱ ペテロ 1:4. エペソ 6:17-18。
- III. 旧約の預言者は、わたしたちへと来るべき恵みについて予言しました——Ⅰ ペテロ 1:10：
- A. 旧約の預言者の内のキリストの霊は、恵みとしてわたしたちに来るキリストについて、彼らに明らかにしました。それは彼の肉体と成ること、彼の人の生活と十字架とにおける苦難、また彼の復活と昇天と再来と支配とにおける彼の栄光を通してです。それは、神の完全な救いをわたしたちに適用するためです——Ⅰ ペテロ 1:5, 9-10. 参照、詩第 22 篇. イザヤ第 53 章. ダニエル 9:26。
- B. キリストの霊は^{けいりんじょう}経綸上、新約の時にキリストの死と復活を通して、またそ

れをもって構成されたのですが(ヨハネ 7:39．ローマ 8:9-11)、キリストの霊の機能は永遠です。なぜなら、彼は永遠の霊であるからです(ヘブル 9:14)。

- C. キリストの霊が、彼の永遠の機能において、旧約の預言者たちの内にあって、彼らに明らかにしたのは、キリストが新約の信者たちに来て、彼らにとって神の完全な救いのすべてに十分な無限の恵みとなり、彼らを王国時代に主の喜びの中に入らせ、この喜びは彼らの魂の救いであるということです——ヨハネ 1:17．ヘブル 10:29 後半．I ペテロ 1:9．マタイ 25:21，23。
- D. キリストの霊は、神の完全な救いを恵みとしてわたしたちに適用します。それは二つの手段によってです。その手段とは、旧約の預言者が予言することと、新約の使徒たちが宣べ伝えることです——I ペテロ 1:10-12．参照、啓 2:7 前半。

IV. 信者たちが望みを完全に置く恵みは、イエス・キリストの出現の時に、信者たちにもたらされます——I ペテロ 1:13：

- A. イエス・キリストの出現の時に、わたしたちにもたらされる恵みは、魂の救いを指しており、それは神の完全な救いの完成です——I ペテロ 1:5，9-10：
 - 1. キリストの中でわたしたちに与えられる恵みは、世が始まる前に、わたしたちに与えられました——II テモテ 1:9．テトス 2:11。
 - 2. 初めにおられた神は、時間の中で肉体と成り、人が受け入れ、所有し、享受する恵みとなりました——ヨハネ 1:1，14，16-17。
 - 3. 手順を経た三一の神は、すべてを含む、命を与える、内住する霊として究極的に完成されて、恵みの霊と成り、わたしたちの霊と共にいます——I コリント 15:45 後半．II コリント 3:17．ヘブル 10:29．ガラテヤ 6:18．ピリピ 4:23。
- B. 日ごとに、わたしたちは開かれた器となって、絶えず恵みを受ける者となるべきであり、この恵みの上に望みを全体的に、完全に置くべきです——ローマ 5:17．I ペテロ 1:13。

V. I ペテロ第 2 章 19 節から 20 節の「神と共にある恵み」は、神聖な命のわたしたちの内側での動機づけ、またわたしたちの生活におけるその表現を指しており、それはわたしたちの振る舞いにおいて、人と神の目に甘美で受け入れられるものとなります：

- A. 恵みは、わたしたちの享受のための手順を経た三一の神であり、わたしたちの神との親密な交わりと神に対する感覚の中で、わたしたちの内側の動

機づけと外側の表現となります。わたしたちはみな、どのようにして恵みを得るか、すなわち、どのようにして恵みを取り、恵みを所有し、恵みを用い、恵みを適用するかを、学ばなければなりません——ヘブル 12:28。

B. 手順を経た三一の神は、わたしたちが受け入れ享受する恵みであり、わたしたちの聖なる生活と召会の集会で表現されて、人が見ることができるものとなります——使徒 11:23。

C. わたしたちが召されたのは、苦難のただ中でキリストを恵みとして享受し表現し、キリストの神・人の生活にしたがって、わたしたちの原型であるキリストの複製、ゼロックスコピーとなるためです——Ⅰペテロ 2:20-21。

Ⅶ. 命の恵みは、信者が強くても弱くても、すべての信者の嗣業^{しぎょう}です——Ⅰペテロ 3:7：

A. 命の恵みとは、わたしたちの命また命の供給としての神聖な三一における神です。すなわち、御父は命の源であり、御子は命の経路であり、その霊は命の流れであって、わたしたちの内側を、御子と御父と共に流れ、わたしたちの恵みとなります——ヨハネ 7:38-39、啓 22:1。

B. わたしたちは命の恵みを受け継ぐ相続人であり、命の恵みを入れる器です——Ⅰペテロ 3:7、エペソ 1:14、Ⅱコリント 4:7。

Ⅷ. 神のさまざまな恵みは、神のさまざまな恵みの豊富を指しており、聖徒たちが互いに供給し合うものです——Ⅰペテロ 4:10：

A. 神のさまざまな恵みとは命の豊富な供給であり、多くの面でわたしたちの中へと供給される三一の神です——Ⅱコリント 13:14、12:9。

B. わたしたちは神のさまざまな恵みの良い家令となって、神の託宣としての恵みの言葉を語り、神が供給する恵みの強さと力を供給する必要があります——Ⅰペテロ 4:10-11、ルカ 4:22、エペソ 3:2、4:29。

Ⅷ. 神はへりくだる者に恵みを与えますが、高ぶる者に敵対します——Ⅰペテロ 5:5：

A. 召会生活の中で、わたしたちはみな互いに謙そんの帯を締め、恵みを与える方としての神を享受する必要があります——参照、ヨハネ 13:3-5。

B. 謙そんはわたしたちを、あらゆる種類の破壊から救い、神の恵みをもたらしますが、高ぶりはわたしたちを最高の愚か者にします——ヤコブ 4:6、詩 138:6、箴 29:23。

C. わたしたちは、神の取り扱いにおける力ある御手の下に進んでへりくだらされ、低くなって、わたしたちの生活とその心配事を神に投げかけなければなりません。なぜなら、彼は愛と信実をもって、わたしたちを顧みてくださるからです——Ⅰペテロ 5:5-7、参照、詩 55:22。

- IX. 「あらゆる恵みの神」、すなわち信者たちをご自身の永遠の栄光の中へ召した方は、彼らの苦難を通して、彼らを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけてくださいます。この「あらゆる恵み」とは、「神の真の恵み」であり、信者たちはこの恵みの中へと入り、その中に立つべきです——Ⅰペテロ 5:10, 12。
- X. 神の真の恵みとは、わたしたちの主また救い主イエス・キリストの恵みと知識であって、その中で信者たちは成長するべきです。それは、彼の栄光が今も、また永遠の日に至るまでも、彼にあるためです——Ⅱペテロ 3:18:
- A. これは使徒ペテロの文書の結びの言葉であり、彼が書いたことは何であれ、神の恵みに属し、その中にあり、それにより、それを通してであることを示します。
- B. 神のエコノミーにおける恵みの産物は、神の詩としてのキリストのからだであり、それは新エルサレムとなり、新しい天と新しい地にある神の義の究極的完成となります——エペソ 2:7-10. Ⅱペテロ 3:13。
- C. 神の恵みの豊富、すなわちわたしたちの享受のための神ご自身の豊富は、あらゆる制限を超越しており、公に展覧されて永遠に至ります——エペソ 2:7。

**神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする**

メッセージ 6

**神聖な性質にあずかり、神聖な命と神聖な性質を発展させ、
永遠の王国へと豊かに入る**

聖書：Ⅱペテロ 1:1, 3-11, 3:18

I. 同じ尊い信仰を受けた者として、わたしたち、キリストにある信者は、神聖な性質にあずかる者となるべきです——Ⅱペテロ 1:4：

- A. 神聖な性質とは、神が何であるか、すなわち、神の存在の豊富と要素と構成とを指しています——ヨハネ 4:24, Iヨハネ 1:5, 4:8, 16。
- B. 神聖な命と神聖な性質は、分離することができません。神聖な性質は神聖な命の実質であり、神聖な命の内側にあります——1:1-2, 5:11-13。
- C. 神の子供たちとして、わたしたちは神・人であり、神から生まれ、神の命と性質を所有し、神の種族に属します——3:1, ヨハネ 1:12-13：
 - 1. わたしたちの再生の時、別の性質がわたしたちの中へと分け与えられました。これは神の性質、神聖な性質です——Ⅱペテロ 1:4。
 - 2. 神聖な性質は神聖な命の中にあるので、わたしたちがそれをもって再び生まれた神聖な命は、神聖な性質をその内側に持っています——ヨハネ 3:3, 5-6, 15。
 - 3. 神の御子の中へと信じる者はだれでも神から生まれており、神の子供となる権利を持っています。ですから、信者は、神の性質にあずかり享受する権利を持っています——1:12-13。
- D. 神聖な性質にあずかる者とは、神聖な性質を享受し、また神聖な性質に分を持つ人です——Ⅱペテロ 1:4：
 - 1. 神聖な性質にあずかるとは、神が何であることを享受することです。神聖な性質にあずかる者となるとは、神の存在の豊富と要素と構成にあずかる者となることです——Ⅰペテロ 1:8。
 - 2. わたしたちは神聖な性質にあずかる者となろうとするなら、神聖な命によって生きる必要があります。この命の内側には、神聖な性質があります——ヨハネ 1:4, 10:10, 11:25, 6:57 後半。
- E. わたしたちは神聖な性質の豊富を、神の尊く、際立って偉大な約束を通して享受します——Ⅱコリント 12:9, マタイ 28:20 後半, エペソ 3:20。
- F. 神聖な性質にあずかる者となることには、条件があります。それは、わたしたちが情欲によるこの世の腐敗から逃れることです。わたしたちは逃れることとあずかること、あずかることと逃れることの循環の中に、生きる必要があります——Ⅱペテロ 1:4。

G. わたしたちは神を享受し、彼の存在の豊富にあずかるなら、神聖な性質で構成され、神格においてではなく命と性質において神と同じになり、わたしたちであるすべて、またわたしたちが行なうことすべてにおいて彼を表現します——Ⅱペテロ 1:3。

H. わたしたちが神聖な性質にあずかり、神であるすべてを享受するとき、神聖な性質の豊富は完全に発展します。それはⅡペテロ第1章5節から7節に記述されているとおりです。

Ⅱ. 神聖な種はすでにわたしたちの中へとまかれており、わたしたちは、この神聖な種の中に含まれている、神聖な命と神聖な性質の発展を経験する必要があります。それは、わたしたちが永遠の王国へと豊かに入るためです——Ⅱペテロ 1:1, 4-11:

A. わたしたちは、すばらしい、同じ尊い信仰をすでに割り当てられました。この信仰はすべてを含む種です——1節:

1. すべての神聖な豊富はこの種の中にありますが、わたしたちは勤勉になってそれを発展させなければなりません。成長して円熟することは、わたしたちがすでに持っているものを発展させることです——1-8節, 3:18。

2. これらの美德を発展させることによって、わたしたちは命において成長し、最終的には円熟に達し、キリストに満ち、また資格づけられ装備されて、来たるべき王国で王となります——エペソ 4:13-15, コロサイ 2:19, Ⅱペテロ 1:11。

3. わたしたちは完全な発展と円熟を持つ必要があります。それは信仰の種から、美德や知識という根、自制という幹、忍耐や敬虔^{けいけん}という枝々を通して、兄弟愛や愛という花と実へと至ります——5-7節。

B. 信仰に美德を供給するとは、同じ尊い信仰を活用して、美德を発展させることです。すなわち、神聖な命の力が、活力のある行動を生み出すことです。この信仰は活用されて、神聖な命の美德が発展して次の段階に至り、円熟に達する必要があります——5節前半。

C. 美德は、神とわたしたちの主イエスに対する知識の満ちあふれる供給を必要とします。わたしたちが美德の中で発展させるべき知識は、神とわたしたちの救い主に対する知識、神のエコノミーに対する知識、信仰とは何であるかに対する知識、神聖な力、栄光、美德、性質、命に対する知識を含みます——5節後半。

D. 自制は、自己の情感と願望と習慣に対して制御や抑制を行使することです。そのような自制は、命における正常な成長のために、知識において行使される必要があります——6節前。

- E. 忍耐を行使するとは、人と環境を耐え忍ぶことです——6 節中。
- F. 敬虔は、神のようである生活、神を表現する生活です——6 節後。
- G. 兄弟愛(ヒラデルヒヤ)は、兄弟の愛情、すなわち、喜びと楽しみで特徴づけられる愛です。神の表現である敬虔において、この愛が供給される必要があります。それは、兄弟の関係を維持するため、この世に対するわたしたちの証しのため、実を結ぶためです——7 節前半。 I ペテロ 2:17. 3:8. ガラテヤ 6:10. ヨハネ 13:34-35. 15:16-17。
- H. わたしたちの内側の神聖な性質の究極的な発展は、愛「アガベ(agape)」です。このギリシャ語は新約の中で神聖な愛を指すのに用いられています。神聖な愛とは、神が彼の性質において何であるかです——II ペテロ 1:7 後半。 I ヨハネ 4:8, 16:
1. わたしたちの兄弟愛は、さらに発展して、さらに高貴で崇高な愛に至る必要があります——II ペテロ 1:7 後半。
 2. わたしたちは神聖な性質を享受するとき、割り当てられた信仰の神聖な種を発展させ、神聖で高貴な愛においてその究極的完成に至る必要があります——5-7 節。
 3. わたしたちは神聖な性質に極みまであずかるとき、愛としての神で満たされ、愛の人、愛そのものとさえなります——エペソ 3:19。
- I. 神聖な命の中で霊的な美徳を発展させ、こうして神聖な命の成長において前進することは、神がわたしたちを召して選んだことを、堅固なものとし、ます——II ペテロ 1:10。
- J. わたしたちは勤勉になって、神聖な命と神聖な性質の成長と発展を追い求め、永遠の王国へと豊かに入るべきです——10-11 節:
1. わたしたちが神聖な命と神聖な性質の発展において享受する満ちあふれる供給は(3-7 節)、わたしたちをあふれるばかりに供給して、わたしたちの主の永遠の王国へと豊かに入らせます。
 2. この供給は、わたしたちを来たるべき王国へと入らせることができ、資格づけます。それは、神の輝く栄光に至るわたしたちの卓越した美徳(力)としての、神聖な命と神聖な性質のすべての豊富によってです——3 節。 I ペテロ 5:10。
 3. 一見すると、わたしたちが永遠の王国へと入ります。実は、永遠の王国へと入ることは、わたしたちの命における成長と、わたしたちの内側にある神聖な命の発展とを通して、わたしたちに豊かに供給されることによります。

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 1

神のエコノミーのための神の統治

聖書：Ⅰペテロ 1:2-3, 5, 10-12, 20. 2:1-5, 9. 3:4. 4:14. 5:10.

Ⅱペテロ 1:4. 3:13, 18

Ⅰ. ペテロの手紙の主題は、神の裁きを伴う神の統治です：

- A. 神の裁きは天使たちから始まり(Ⅱペテロ 2:3-4)、旧約では各世代の人を経過しました(5-9 節)。
- B. 新約時代、裁きは、神の家から始まり(Ⅰペテロ 1:17. 2:23. 4:6, 17)、そして主の日の到来まで継続します(Ⅱペテロ 3:10)。それは、千年王国の前には、ユダヤ人、信者たち、異邦人の裁きの日となるでしょう(12 節)。
- C. 千年王国の後には、人と悪鬼を含めてすべての死人が裁かれて滅びます(Ⅰペテロ 4:5. Ⅱペテロ 3:7)。また天と地は火によって燃え尽きます(10 節後半, 12 節)。
- D. さまざまな裁きの結果は同じではありません。ある裁きの結果は訓練的な取り扱いであり、あるものは経綸^{けいりんじょう}上の懲らしめであり、あるものは永遠の滅びです——Ⅱペテロ 2:1, フットノート 5 の(2)。
- E. しかしながら、このすべての裁きによって、主なる神は宇宙全体を清掃し、浄化されるでしょう。それは、神が喜びのために、彼の義で満ちた新しい宇宙のために(3:13)、新しい天と新しい地を持たれるためです。
- F. 神の統治上の裁きは、ダニエル書においても見ることができます：
 - 1. ネブカデネザルの「心が高ぶり、彼の霊が傲慢^{ごうまん}になって、高慢に振る舞ったので、彼はその王座から退けられ、栄光は彼から取り去られました」(5:20)。ネブカデネザルの王国は、「天が支配するのを[彼が]知るようになるれば」、彼に確保されると、神は言いました(4:26. 5:21)。
 - 2. ネブカデネザルの末であるベルシャザルはこの事をすべて知っていましたが、神の御前での彼の酩酊^{めいてい}は、神の聖に対する侮辱であったので、ダニエルは彼に次のように告げました、「あなたの息と、あなたのすべての道がその手にある神を尊びませんでした」(22-23 節)。こういうわけで、彼の王国は「分裂し、メデア人とペルシャ人に与えられ」ました(28 節)。
- G. こういうわけで、ペテロがわたしたちに告げているのは、わたしたちが「寄留の時を、畏れのうちに過ご」すべきであるということです(Ⅰペテロ 1:17)。ペテロがまた言っているのは、わたしたちが「神の力ある御手の下にへりくだらされ」ている必要があり、「それは時至って、彼があなたがたを高く上げてくださるため」であるということです(5:6)。神の懲らしめに

において、神のへりくだらせる御手によって進んで低くされることは、わたしたちが神の高く上げる御手によって高くされるための前提条件であり、またわたしたちが、わたしたちの命の供給としての三一の神ご自身を享受するための前提条件であって、それは、へりくだらされた信者の中で増し加わります(5節、1:2、4:10)。

- H. 主を畏れることは、彼を畏れ敬うことであり、またあらゆることで主を顧慮し尊重し(詩 86:11、イザヤ 11:2、箴 1:7、3:5-10)、彼がわたしたちを創造されたすばらしい神であることを、決して忘れないことです(イザヤ 43:7)。主を畏れることは、わたしたちが悪を行なうことをやめさせます。主を畏れることはまた、わたしたちが他の人たちの苦難によって触れられ、彼らにあわれみと深い同情を示すようにさせます。

II. ペテロの第一と第二の手紙の主題は神の統治ですが、これはこれらの手紙の中心的な焦点と基本的な構造ではありません。神の統治に関するすべてのことは、わたしたちをこれらの手紙の中心的な焦点と基本的な構造に戻すべきです。それは、わたしたちの満ち満ちた享受としての三一の神であって、神のエコノミーを遂行します：

- A. ペテロの第一と第二の手紙の中心的な焦点と基本的な構造は、力を尽くして活動する三一の神が彼のエコノミーの中で活動して、彼の選ばれた者たちを、三一の神の満ち満ちた享受の中へともたらすということです。心の中の隠れた人であるわたしたちの人の霊と、栄光の霊でありキリストの霊である神の霊は、わたしたちが神の神聖な性質の中で、わたしたちの分け前としての神にあずかる手段です—— I ペテロ 1:2-3, 5, 11、2:1-3, 5, 9, 3:4, 4:14, 5:10、II ペテロ 1:4。
- B. ペテロの第一と第二の手紙の中心的な焦点と基本的な構造とは、三一の神が活動して彼の全体的な救いを完成し、それによってわたしたちが再生され、彼の言葉で養われ、成長し、造り変えられ、建造されて、彼が住まいを持ち、わたしたちが栄光化されて彼を表現することです—— I ペテロ 1:23, 2:1-5, 9。
- C. ペテロは大胆になって、初期の使徒たち、例えばヨハネ、パウロ、彼自身が(彼らの表現方法、用語、発言、観点、彼らの教えを提示する方法は異なっていますが)、同じ唯一の務め、すなわち新約の務めにあずかっていたことを承認しました—— II ペテロ 1:12-21, 3:2, 15-16、II コリント 3:6, 8-9, 4:1。
- D. そのような務めは、その務めの中心(焦点)としての、三一の神の具体化である、すべてを含むキリストを人々に供給します。この三一の神は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の手順を経過した後、キリストの贖い

を通して、また聖霊の活動によって、ご自身を彼の贖われた民の中へと、彼らの唯一の命の分け前として、彼らの命の供給またすべてとして分与します。そして御父の永遠の定められた御旨にしたがって、キリストのからだとしての召会を建造し、それは三一の神の完全な表現、豊満において究極的に完成します——使徒 2:36. 3:13, 15. 10:36. I ペテロ 1:2-3, 18-19, 23. 2:2-5, 7, 9, 25. 3:7. 4:10, 17. 5:2, 4, 10. II ペテロ 1:2-4. 3:18。

Ⅲ. ペテロは、わずか八つの章から成る彼の二つの手紙で、神のエコノミー全体を、世の基の置かれる前の過去の永遠から (I ペテロ 1:2, 20)、将来の永遠における新しい天と新しい地まで (II ペテロ 3:13) 述べています。彼は神のエコノミーに関する極めて重要な事柄を、預言者たちが予言し、使徒たちが宣べ伝えたことに関して (I ペテロ 1:10-12)、以下の四つの面から明らかに示しています：

A. 三一の神の面から：

1. 父なる神は、永遠において彼の予知にしたがって人々を選び (1-2 節. 2:9)、彼らを神の栄光の中へ召しました (II ペテロ 1:3)。
2. キリストは、世の基の置かれる前から神によってあらかじめ知られていましたが、時代の終わりに現されました (I ペテロ 1:20)。そして彼は神の選ばれた人たちを贖い、救いました (18-19, 2 節)。それは彼の身代わりの死により (2:24. 3:18)、彼の命における復活と力における昇天を通してです (1:3. 3:21-22)。
3. その霊は、天から遣わされ、キリストが贖い救った者たちを聖別し、きよめました (1:2, 12, 22. 4:14)。御使いたちは、これらの事柄をうかがい知ろうと願っています (1:12)。
4. 三一の神の神聖な力は、命と敬虔^{けいけん}にかかわるすべての事柄を贖われた者に備え (II ペテロ 1:3-4)、完全な救いへと、彼らを守っています (I ペテロ 1:5)。
5. 神はまた、彼のいくつかのさまざまな統治上の裁きによって (1:17. 2:23. 4:5-6, 17. II ペテロ 2:3-4, 9. 3:7)、彼らを取り扱います (I ペテロ 5:6)。そして彼のあらゆる恵みによって、彼らを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけます (I ペテロ 5:10)。
6. 主は彼らに対して辛抱強くあります。それは、彼らがみな機会を得て悔い改め、救いへと至るためです——II ペテロ 3:9, 15。
7. それからキリストは栄光の中で現れ、彼を愛する者たちに彼の完全な救いを与えます——I ペテロ 1:5, 7-9, 13. 4:13. 5:4。

B. 信者たちの面から：

1. 信者たちは神の所有として、神に選ばれ (1:2. 2:9)、彼の栄光と美德によって召され (9 節. 3:9. II ペテロ 1:3, 10)、キリストによって贖われ (I ペテロ 1:18-19)、神によって彼の生ける言葉を通して再生され (3, 23

節)、キリストの復活を通して救われました(3:21)。

2. 彼らは今や神の力によって守られており(1:5)、きよめられて互いに愛し合っており(22 節)、言葉の乳で養われることによって成長しつつあり(2:2)、命の中で霊的な美德を発展させつつあり(Ⅱペテロ 1:5-8)、徐々に造り変えられて霊の家に建造されていきながら、聖なる祭司の体系となって神に仕えます(Ⅰペテロ 2:4-5, 9)。
 3. 彼らは神の選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、彼の固有の所有のための特別な民であって、彼の美德を表現します——9 節。
 4. 彼らは神の統治上の裁きによって取り扱われ(1:17, 2:19-21, 3:9, 14, 17, 4:6, 12-19, 5:6, 9)、卓越した態度と敬虔の中で聖なる生活をして神に栄光を帰し(1:15, 2:12, 3:1-2)、長老たちの模範的な牧養の下で(5:1-4)、神のさまざまな恵みの良い家令として供給し、キリストを通して神の栄光が現されるようにし(4:10-11)、主の到来を待ち望み、また早めています(1:13, Ⅱペテロ 3:12)。それは、彼らが豊かに供給されて、主の永遠の王国へと入るためです(1:11)。
 5. さらに、彼らは永遠において、義が住む、新しい天と新しい地を待ち望んでおり(3:13)、わたしたちの主また救い主イエス・キリストの恵みと知識の中で、絶えず成長しつつあります(18 節)。
- C. サタンの面から：サタンは信者たちの敵である悪魔であり、ほえたける獅子のように、歩き回って、だれかを食い尽くそうと捜し求めています——Ⅰペテロ 5:8。
- D. 宇宙の面から：
1. 墮落した天使は罪定められて、永遠の裁きを待っています(Ⅱペテロ 2:4)。古代の不敬虔な者たちの世界は洪水によって滅ぼされました(5 節, 3:6)。不敬虔な者たちの町は灰となりました(2:6)。背教の偽教師たちと異端的なあざける者たち、また邪悪な生活をする人類はみな、裁かれて滅びへと至ります(1, 3, 9-10, 12 節, 3:3-4, 7, Ⅰペテロ 4:5)。天と地は焼かれます(Ⅱペテロ 3:7, 10-11)。すべての死んだ者と悪鬼は裁かれます(Ⅰペテロ 4:5)。
 2. それから、新しい天と新しい地が新しい宇宙として現れ、その中に、神の義が永遠に住みます——Ⅱペテロ 3:13, 参照、イザヤ 1:26。

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 2

神の統治の下でクリスチャン生活をする

聖書：Ⅰペテロ 1:17、2:21-24、4:17-19、5:6

I. ペテロの第一と第二の手紙は、神の宇宙的な統治についてです：

- A. ペテロの第一の手紙の主題は、神の統治の下にあるクリスチャン生活です。特に神が彼の選びの民を取り扱うことでの、神の統治を見せています——1:2。
- B. ペテロの第二の手紙の主題は、神聖な備えと神聖な統治であり、これは神がわたしたちを統治しているとき、わたしたちが必要とするものをすべて供給することを見せています——1:1-4、3:13。
- C. 神は裁くことによって統治します。神の裁きは彼の統治を遂行するためです——Ⅰペテロ 1:17、4:17：
 - 1. ペテロの第一と第二の手紙は神の統治に関するものであるので、これらの手紙で神の裁きと主の裁きが、主要な項目の一つとして繰り返し述べられています——Ⅰペテロ 2:23、4:5-6、17、Ⅱペテロ 2:3-4、9、3:7。
 - 2. 各種の裁きを通して、主なる神は全宇宙を一掃し、きよめて、新しい天と新しい地を持ち、彼の義に満ちた新しい宇宙とならせ、彼の喜びとします——13節。
- D. Ⅰペテロ第1章17節の裁きは、御父が執行する裁きであり、それは将来の裁きではなく、神が現在、日ごとに、統治上、彼の子供たちを対処する裁きです：
 - 1. 御父はわたしたちを再生して、聖なる家庭を生み出しました。その聖なる家庭とは、聖なる御父と聖なる子供たちです——3、15、17節。
 - 2. 聖なる子供たちとして、わたしたちは聖なる生活様式の中を歩くべきです(15-16節)。そうでないと、父なる神は彼の統治において裁き主となり、わたしたちの聖でないことを対処します(4:15-17、ヘブル 12:9-10)。
- E. 神の統治における懲らしめる裁きは、神の家から始まります——Ⅰペテロ 4:17：
 - 1. 神は彼の統治に符合しないすべてのものを裁きます。ですから、この時代にわたしたち、神の子供たちは、神の日ごとの裁きの下にいます——1:17。
 - 2. 神は彼の統治上の管理の裁きの中で、烈火のような苦難を用いて信者たちを対処します。この裁きは彼ご自身の家から始まります——4:12、

17。

3. この裁きの目的は、わたしたちが霊の中で神にしたがって生きようになることです——6 節。

II. ペテロの文書の尊さは、彼がクリスチャン生活と神の統治を結合して、クリスチャン生活と神の統治が、対になって並行することを啓示していることにあります——I ペテロ 1:17. 2:21, 24. 3:15. 4:17. 5:5-8:

A. 三一の神はキリストの中で長い過程を経過して、命を与える霊と成り、わたしたちの中に住みました。これはわたしたちのクリスチャン生活のためです——ヨハネ 1:14. 14:17. I コリント 15:45 後半. 6:17。

B. それと同時に、三一の神はなおも宇宙の創造主であり、またその支配者です——I ペテロ 4:19。

C. わたしたちは神から生まれて霊の命を持ち、新創造となりましたが、なおも旧創造の中にあります——ヨハネ 1:12-13. 3:3, 5-6. II コリント 5:17:

1. こういうわけで、わたしたちは神の統治上の対処を必要とするのです——I ペテロ 1:17。

2. クリスチャンの命が成長するために、わたしたちは神の統治の取り扱いを必要とします——2:2. 4:17. II ペテロ 1:5-7。

III. 主イエスは地上にいたとき、完全に神の統治の下にある人の生活をし、彼に関するすべてのことを神の統治にゆだねました——ヨハネ 6:38. I ペテロ 2:21-23:

A. 主はご自身のすべての辱めと傷を、統治の中で義しく裁く方、義なる神にゆだね続け、ご自身をこの方に服従させました。主はこの義なる方に信頼し、この方の統治を承認しました——23 節。

B. 神が人としてのキリストに助言したとき、キリストの内なる各部分は神との接触を通して、神と一であり、彼を教えました——詩 16:7. イザヤ 50:4。

IV. わたしたちはキリストにある信者、また神の子供たちとして、神の統治の下にあるクリスチャン生活をすべきです——ヨハネ 3:15. 1:12-13. I ペテロ 4:13-19. 5:6-8:

A. ペテロの手紙が啓示しているキリストは、神が苦難を通して執行する統治上の対処を、わたしたちが受け入れることができるようにしてくださる方です——I ペテロ 1:6-8. 2:3-4, 19, 21-25. 3:18, 22. 4:1, 15-16. 5:8-9。

B. わたしたちは寄留の時を、聖なる畏れのうちに過ごすべきです。この聖なる畏れとは、健康で真剣な用心深さのことであり、わたしたちを導いて、すべての生活様式において聖とならせます——1:15, 17。

- C. わたしたちは、神の統治を執行する力ある御手の下にへりくだらされているべきです——5:6：
1. 6節で、「神の力ある御手」は、神の行政を執行する御手を指しており、特に彼の裁きにおいて見られます——1:17. 4:17。
 2. 神の力ある御手の下にへりくだられるとは、神によってへりくだるようになされることです。しかしながら、わたしたちは神の働きと協力し、進んで神の力ある御手の下にへりくだられ、低くされなければなりません——5:6。
- D. わたしたちは自分の魂を、信実な創造主にゆだねるべきです——4:19：
1. 神はわたしたちの魂を保護することができ、彼の愛する信実な顧みは、彼の統治上の管理の中の公正を伴います。
 2. 神は彼の統治においてわたしたちを裁いているとき、信実に彼の愛の中でわたしたちを顧みています。わたしたちは彼の取り扱いの裁きを受けているとき、自分の魂をわたしたちの創造主の信実な顧みにゆだねるべきです——マタイ 10:28. 11:28-29。
- E. キリストの死の中で、わたしたちは罪に死にました。それによってキリストの復活の中で、わたしたちは神の統治の下で義に生きます——Ⅰペテロ 2:24：
1. 神の統治は義の上に確立されます(詩 89:14 前半)。彼の統治の下で生きる神の民として、わたしたちは義なる生活をしなければなりません。
 2. 「義に生きる」という表現は、神の統治上の要求を満たすことと関係があります——Ⅰペテロ 2:24：
 - a. わたしたちが救われたのは、神の統治の下で正しく生きるため、すなわち、神の統治の義なる要求にふさわしく生きるためです。
 - b. わたしたちはキリストの死の中で、罪から分離され、彼の復活の中で、生かされました。それは、わたしたちがクリスチャン生活の中で、自然に神の統治の下で義に生きるためです——ローマ 6:8, 10-11, 18. エペソ 2:6. ヨハネ 14:19. Ⅱテモテ 2:11。

**神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする**

メッセージ 3

ペテロの手紙における命と建造

聖書：Ⅰ ペテロ 1:8, 2:1-5, 9, Ⅱ ペテロ 1:3-4

I. ペテロの手紙と全聖書の中心思想は、命と建造です——Ⅰ ペテロ 1:23, 2:2-5, Ⅱ ペテロ 1:3-4:

- A. 命とは、キリストの中に具体化され、その霊として実際化された三一の神が、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの享受となることです。建造とは、召会、キリストのからだ、神の霊の家であり、それは神の拡大また拡張であって、神を団体的に表現します——創 2:8-9, 22, マタイ 16:18, コロサイ 2:19, エペソ 4:16。
- B. キリストは命の種として、わたしたちの内側の命の力です。この力は、命と敬虔にかかわるすべての事柄を、わたしたちにすでに与えています。それは命の成長と発展を通して召会を建造し、命の豊富な余剰、また命の表現となるためです——Ⅱ ペテロ 1:3-4, 参照、使徒 3:15, 詩歌 154 番 4 節。

II. 神の目標は、生ける石で建造された霊の家を持つことです——Ⅰ ペテロ 2:5:

- A. わたしたちの命として、キリストは朽ちない種です。神の建造のために、彼は生ける石です——1:23, 2:4。
- B. ペテロの悔い改めの時、主は彼に、ペテロ、すなわち石という新しい名を与えました(ヨハネ 1:42)。ペテロがキリストに関する啓示を受けたとき、主はさらに、ご自身が岩、すなわち石であることを啓示しました(マタイ 16:18)。この二つの出来事によって、ペテロは、キリストと彼の信者たちが神の建造のための生ける石であるという印象を受けました(Ⅰ ペテロ 2:4-8, 使徒 4:11, イザヤ 28:16, ゼカリヤ 4:7)。
- C. わたしたち、キリストにある信者は、再生と造り変えを通して、キリストの複製としての生ける石となります。わたしたちは土くれから創造されましたが(ローマ 9:21)、再生の時、神聖な命の種を受けました。その種はわたしたちの中で成長することによって、わたしたちを造り変えて生ける石とします(Ⅰ ペテロ 2:5)。

III. 神の建造は生きているので、成長します。神の家としての召会を真に建造することは、信者たちの命における成長によります——エペソ 2:21:

- A. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは主を愛し、わたしたちの霊に注意し、何ものにもまさってわたしたちの心を見守って、命の道にとどまらなければなりません——Ⅰ ペテロ 1:8, 2:2, 5。

3:4, 15. 箴 4:18-23. 申 10:12. マルコ 12:30.

- B. キリストの命がわたしたちの中で妨げられないことを願うなら、わたしたちは十字架の砕き、すなわち、栄光の霊としてのキリストのすべてを含む霊の中の、キリストの殺す死を経験しなければなりません。それによって、わたしたちの中の以下の障害は対処され、取り除かれることができます—— I ペテロ 1:11, 4:14. 詩 139:23-24:

1. クリスチャンであるとは、キリスト以外の何ものも、わたしたちの目標としないことを意味します。この事に対する障害は、命の道を知らず、キリストをわたしたちの命としないことです——マタイ 7:13-14. ピリピ 3:8-14. コロサイ 3:4. ローマ 8:28-29.
2. 第二の障害は偽善です。人の霊性が決定されるのは、外側の現れによってではなく、いかにキリストに注意を払うかによってです——マタイ 6:1-6, 15:7-8. ヨハネ 5:44, 12:42-43. 参照、ヨシュア 7:21.
3. 第三の障害は反逆です。わたしたちは事を行なうことにとっても積極的で熱心であっても、わたしたちの内側の生けるキリストを軽視することによって、なおも彼を監禁し、不従順であるかもしれません——レビ 14:9, 14-18, 11:1-2, 46-47. ローマ 16:17. I コリント 15:33.
4. 第四の障害は、わたしたちの天然の能力です。もしこれらの天然の能力がわたしたちの中で砕かれないままであるなら、キリストの命にとって問題となります——2:14-15, 3:12, 16-17. ユダ 19 節. 参照、レビ 10:1-2.

- C. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは、「すべての悪意と、すべての悪巧みと偽善とねたみと、すべての悪口とを捨て去らなければなりません—— I ペテロ 2:1.

- D. 神の建造のために命において成長しようとするなら、わたしたちは神の悪巧みのない言葉の乳で養われなければなりません—— I ペテロ 2:2:

1. 悪巧みのない乳は、神の言葉の中で伝達されて、わたしたちの理性のある思いの理解を通してわたしたちの内なる人を養い、わたしたちの知性の機能によって吸収されます——ローマ 8:6. 参照、申 11:18.
2. 言葉の養う乳は、思いを通して魂のためですが、それは最終的に、霊を養い、わたしたちを魂的ではなく霊的にし、神の霊の家として建造されるように適合させます——参照、I コリント 2:15.
3. 言葉の乳を享受し、神と言葉の中の彼の良きことを味わうために、わたしたちはすべての祈りによって彼の言葉を受け取って、彼の言葉を思い巡らさなければなりません—— I ペテロ 2:3. エペソ 6:17-18. 詩

119:15, 23, 48, 78, 99, 148:

- a. 言葉を思い巡らすとは、注意深く考察することによってそれを味わい、享受することです——Ⅰペテロ 2:2-3. 詩 119:103。
 - b. 祈りも、自らに語ることも、主を賛美することも、言葉を思い巡らすことに含まれます。言葉を思い巡らすことは、「反芻^{はんすう}する」こと、多くの再考慮を通して、神の言葉を受け取ることです——レビ 11:3。
4. 言葉の中の養う乳としてのキリストで養われることによって、わたしたちは成長して完全な救いへと至り、造り変えを通して円熟へと至り、栄光化されます。Ⅰペテロ第2章2節の救いは、神の建造のための造り変えの事柄です。
5. わたしたちは、わたしたちを養う「乳・キリスト」を享受し、「石・キリスト」としての彼をもって造り変えられ、「からだ・キリスト」として、神の霊の家として建造されて、聖なる祭司の体系となります——2-4節. Ⅰコリント 12:12-13。

Ⅳ. 聖なる祭司の体系、すなわち組み合わされた祭司団は、建造された霊の家です。神は彼の住まいのための霊の家と、彼に仕えるための祭司団、すなわち団体の祭司の体系を求めています——Ⅰペテロ 2:5. 出 19:5-6:

- A. わたしたちは、「選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、所有として獲得された民です」(Ⅰペテロ 2:9)。「選ばれた種族」は、わたしたちが神を源とすることを意味し、「王なる祭司の体系」は、わたしたちが神に仕えることを意味し、「聖なる国民」は、わたしたちが神のための共同体であることを意味し、「所有として獲得された民」は、わたしたちが神にとって尊いことを意味します。
- B. わたしたちの団体的な祭司の奉仕は、わたしたちを暗やみから、驚くべき光の中へ召してくださった方の美德を福音として告知らせることです(9節)。それによって、わたしたちは「イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげ」ます(5節後半)。この霊のいけにえは以下のものです:
1. 旧約の予表のすべてのいけにえの実際であるキリスト。全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物などです——レビ第1章—第5章。
 2. わたしたちが福音を宣べ伝えることによって救われた、キリストの肢体としてささげられた罪人——ローマ 15:16。
 3. わたしたちの体、わたしたちの賛美、わたしたちが神のために行なう事——12:1. ヘブル 13:15-16. ピリピ 4:18。

C. わたしたちの主に対する祭司の奉仕はすべて、「測りなわの神」としての彼を源としていなければならず、わたしたち自身からであってはなりません。わたしたちの祭司の奉仕はすべて、彼の導きと彼の制限にしたがっており、彼の死をわたしたちの内側で働かせなければなりません。それによって、彼の復活の命はわたしたちを通して、他の人の中へと分け与えられることができます——Ⅱコリント 10:13．ヨハネ 12:24．21:15-22．サムエル下 7:18，25，27．ルカ 1:37-38．詩歌 650 番。

©2024 Living Stream Ministry

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 4

キリストの複製となり、キリストをわたしたちの魂の牧者として経験する

聖書：Ⅰペテロ 2:21-23, 25, マタイ 11:28-30, ピリピ 1:27, 2:2

Ⅰ. わたしたちはキリストにある信者として、わたしたちの原型としてのキリストの複製となることができます——Ⅰペテロ 2:21：

- A. 神の統治の下での主イエスの生活は原型であり、わたしたちが彼の複製となることによって、彼の足跡に従うようにします——21-23 節, エペソ 4:20-21。
- B. Ⅰペテロ第 2 章 21 節の「原型」のギリシャ語は、文字を教えるときに使われる原本、すなわち、学生が字を書くことを習うとき、文字をなぞるのに使う書き写し、手本を示しています：
 - 1. 主イエスがわたしたちの前に置いた彼の生活は、彼の足跡をたどり、それに従うことによって写す手本です——マタイ 11:28-30。
 - 2. 神の意図は、わたしたちが自分自身の努力によってキリストを模倣しようとするものではありません。わたしたちが必要とするのは模倣ではなく、複製です——ローマ 8:29, Ⅱコリント 3:18。
- C. わたしたちは、神聖な命の豊富を含む過程によって、キリストの複製、キリストのコピーとなる必要があります。この過程が完成するとき、わたしたちはキリストの複製となります——ヨハネ 3:15, エペソ 3:8。
- D. ゼロックスコピーをすることは、ペテロが言う、キリストはわたしたちの原型であることの意味を説明するのに用いることができます。
- E. わたしたちの原型であるキリストの複製となるために、わたしたちはキリストを、わたしたちの中に生きる方として、わたしたちの中に形づくられる方として、わたしたちの心の中にご自身のホームを造る方として、経験する必要があります——ガラテヤ 2:20, 4:19, エペソ 3:16-17 前半：
 - 1. 新約は、キリストがわたしたちの内なる存在と深く関係があることを啓示しています——ガラテヤ 1:16, コロサイ 3:10-11。
 - 2. 霊なるキリスト、すなわち命を与える霊としてのキリストは、わたしたちの中に生きています——Ⅰコリント 15:45 後半, ガラテヤ 2:20：
 - a. 神のエコノミーとは、「わたし」がキリストの死の中で十字架につけられ、キリストが彼の復活の中でわたしたちの中に生きることです——ヨハネ 14:19。
 - b. わたしたちは主と一つ霊であり、彼と一つ命を持っています。そして今や彼と一つパースンとなるべきです——Ⅰコリント 6:17, コロサイ

3:4. ピリピ 1:21 前半。

- c. キリストはその霊としてわたしたちの中に住んでいるので、わたしたちは彼に内側で生きていただく必要があります——ヨハネ 14:16-19. ガラテヤ 2:20。

3. キリストがわたしたちの中に形づくられるとは、キリストにわたしたちの中で完全に成長していただくことです——4:19：

- a. わたしたちが悔い改めて彼を信じたとき、キリストはわたしたちの中へと生まれました。それから、彼はクリスチャン生活において、わたしたちの中に生きています。最終的に、彼はわたしたちの円熟のとき、わたしたちの中に形づくられます——ヨハネ 1:12-13. 3:15. ガラテヤ 2:20. 4:19。
- b. キリストがわたしたちの中に形づくられるとは、すべてを含む霊にわたしたちの内なる存在のあらゆる部分を占有していただき、キリストにわたしたちの中で完全に成長していただくことです——コロサイ 2:19. エペソ 4:15-16。
- c. キリストがわたしたちの中に形づくられることは、わたしたちが有機的にキリストで構成されつつあることを暗示します——コロサイ 3:10-11。
- d. ガラテヤ第4章19節で「形づくられる」ことは、Ⅱコリント第3章18節の「かたち」に符合します。キリストはわたしたちの中に形づくられ、わたしたちは彼のかたちにおいて彼を表現します。

4. わたしたちの中に生き、わたしたちの中に形づくられつつあるキリストは、わたしたちの心の中にご自身のホームを造りつつあります——エペソ 3:16-17 前半：

5. キリストがわたしたちの中に生き、わたしたちの中に形づくられ、わたしたちの心の中にご自身のホームを造るとき、わたしたちはキリストの複製となり、神の団体の表現となります——ローマ 8:29. 12:4-5. 啓 21:2。

II. わたしたちはキリストの複製となる時、キリストをわたしたちの魂の牧者として経験し、享受することができます——Ⅰペテロ 2:25. マタイ 11:28-30. ピリピ 1:27. 2:2：

A. 霊なるキリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの内側の状態を監督し、わたしたちの内なる存在の状況を顧みます：

1. キリストの有機的な牧養は、おもにわたしたちの魂を顧みることです——詩 23:3。

2. キリストはわたしたちの魂の益を顧みることによって、またわたしたちの内なる存在の状態を監督することによって、わたしたちを牧養します——参照、ヘブル 13:17。

3. このような牧養は、内側の、内在的で、有機的な慰めです。

B. わたしたちの魂はとても複雑です。ですからわたしたちは、霊の中の命を与える霊であるキリストが魂においてわたしたちを牧養し、わたしたちの思い、感情、意志を顧み、わたしたちの問題、必要、傷を顧みてくださることを必要とします——ヨハネ 14:16-17. I コリント 15:45 後半. 6:17:

1. キリストはわたしたちの霊なる牧者として、わたしたちを霊の内側から顧みます。

2. 彼の牧養はわたしたちの霊から始まり、わたしたちの魂のあらゆる部分に拡大します。

3. キリストはわたしたちの霊から魂のすべての部分に届き、優しい、有機的な、すべてを含む方法でわたしたちを顧みます。

C. キリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂を回復します——詩 23:3 前半:

1. わたしたちの魂が回復されるとは、わたしたちが復興されるという意味です。

2. わたしたちの魂を回復することは、更新することと造り変えることも含んでいます——ローマ 12:2. II コリント 3:18。

D. 主はわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂に安息を与えます——マタイ 11:28-30:

1. 主は、律法を守ろうとして努力したり、どんな働きにおいても成功しようと奮闘したりしている者たちを、ご自身に来て、安息するように召しています——28 節。

2. この安息は、律法や宗教の下にある、あるいは働きや責任の下にある労苦と重荷から解放されることを指しているだけでなく、完全な平安と全き満足をも指しています。

3. 主のくびきを負うとは、御父のみこころを取ることです——12:50。

4. 主はそのような生活をし、御父のみこころによって拘束され、御父のみこころを顧慮しました(ヨハネ 4:34. 5:30. 6:38)。彼は完全に御父のみこころで満足し、心の中で安息していました。

5. 主のくびきを負い、彼から学ぶことによってわたしたちが見いだす安息は、内側の安息、すなわち、わたしたちの魂のための安息です——マタイ 11:29-30。

E. 主がわたしたちの魂を牧養し、わたしたちの魂を回復するとき、わたしたちはキリストを経験するだけでなく、またキリストを享受します——ピリピ 2:2. 3:1 前半：

1. キリストを経験することは、おもにわたしたちの霊の中の事柄ですが、キリストを享受することは、わたしたちの魂の中にあります——1:27. 2:2。
2. わたしたちの魂に問題があるなら、わたしたちはキリストを経験しても、キリストを享受していないかもしれません。
3. キリストに関して、わたしたちの味わいはおもにわたしたちの魂にあります。こういうわけで、キリストを享受するために、わたしたちは主にわたしたちの魂のあらゆる部分を、特にわたしたちの思いを牧養していただくことを必要とするのです。

神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 5

ペテロの手紙における恵み

聖書：Ⅰ ペテロ 1:2 後半, 10, 13. 2:19-20. 3:7. 4:10. 5:5, 10, 12.

Ⅱ ペテロ 1:2. 3:18

- I. 恵みとは、わたしたちの享受としてのキリストご自身です——恵みとは、復活したキリストが命を与える霊と成って、ご自身を無代価でわたしたちに与え、わたしたちのすべてとなり、わたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちのために、すべてのことを行なうことです——ヨハネ 1:14, 16-17. イザヤ 55:1. Ⅱ コリント 1:8-9, 12. ガラテヤ 2:20. 参照、Ⅰ コリント 15:10。
- II. 恵みの増し加わりとは、恵みがわたしたちの日常生活の中で、神とわたしたちの主イエスを知る全き知識の中で、増し加わることです。神のエコノミーにおける神の恵みは、豊富で、増し加わり、満ちあふれます——Ⅰ ペテロ 1:2 後半. Ⅱ ペテロ 1:2. ヨハネ 1:16. エペソ 1:6-8. 2:7. ローマ 5:17, 21. Ⅰ テモテ 1:14. 啓 22:21：
- A. 恵みは、わたしたちの苦難、制限、弱さを通してわたしたちに増し加えられます。恵みとは、わたしたちの重荷を負う方としてのキリストです。わたしたちは重荷を持てば持つほど、恵みとしてのキリストを経験する機会をますます多く持ちます——Ⅱ コリント 12:7-9. 参照、1:12, 15。
- B. 恵みとしての主に対する享受は、彼を愛する者と共にあります——エペソ 6:24. ヨハネ 21:15-17. Ⅰ ペテロ 1:8。
- C. 主を恵みとして、彼の神聖な性質と共に享受することは、わたしたちが彼の恵みの言葉を受け入れ、その中に住むことによります。この言葉は、彼の尊く際立って偉大な約束すべてを含みます——使徒 20:32. Ⅱ ペテロ 1:4. エペソ 6:17-18。
- III. 旧約の預言者は、わたしたちへと来るべき恵みについて予言しました——Ⅰ ペテロ 1:10：
- A. 旧約の預言者の内のキリストの霊は、恵みとしてわたしたちに来るキリストについて、彼らに明らかにしました。それは彼の肉体と成ること、彼の人の生活と十字架とにおける苦難、また彼の復活と昇天と再来と支配とにおける彼の栄光を通してです。それは、神の完全な救いをわたしたちに適用するためです——Ⅰ ペテロ 1:5, 9-10. 参照、詩第 22 篇. イザヤ第 53 章. ダニエル 9:26。
- B. キリストの霊は^{けいりんじょう}経綸上、新約の時にキリストの死と復活を通して、またそ

れをもって構成されたのですが(ヨハネ 7:39．ローマ 8:9-11)、キリストの霊の機能は永遠です。なぜなら、彼は永遠の霊であるからです(ヘブル 9:14)。

- C. キリストの霊が、彼の永遠の機能において、旧約の預言者たちの内にあって、彼らに明らかにしたのは、キリストが新約の信者たちに来て、彼らにとって神の完全な救いのすべてに十分な無限の恵みとなり、彼らを王国時代に主の喜びの中に入らせ、この喜びは彼らの魂の救いであるということです——ヨハネ 1:17．ヘブル 10:29 後半．I ペテロ 1:9．マタイ 25:21，23。
- D. キリストの霊は、神の完全な救いを恵みとしてわたしたちに適用します。それは二つの手段によってです。その手段とは、旧約の預言者が予言することと、新約の使徒たちが宣べ伝えることです——I ペテロ 1:10-12．参照、啓 2:7 前半。

IV. 信者たちが望みを完全に置く恵みは、イエス・キリストの出現の時に、信者たちにもたらされます——I ペテロ 1:13：

- A. イエス・キリストの出現の時に、わたしたちにもたらされる恵みは、魂の救いを指しており、それは神の完全な救いの完成です——I ペテロ 1:5，9-10：
 - 1. キリストの中でわたしたちに与えられる恵みは、世が始まる前に、わたしたちに与えられました——II テモテ 1:9．テトス 2:11。
 - 2. 初めにおられた神は、時間の中で肉体と成り、人が受け入れ、所有し、享受する恵みとなりました——ヨハネ 1:1，14，16-17。
 - 3. 手順を経た三一の神は、すべてを含む、命を与える、内住する霊として究極的に完成されて、恵みの霊と成り、わたしたちの霊と共にいます——I コリント 15:45 後半．II コリント 3:17．ヘブル 10:29．ガラテヤ 6:18．ピリピ 4:23。
- B. 日ごとに、わたしたちは開かれた器となって、絶えず恵みを受ける者となるべきであり、この恵みの上に望みを全体的に、完全に置くべきです——ローマ 5:17．I ペテロ 1:13。

V. I ペテロ第 2 章 19 節から 20 節の「神と共にある恵み」は、神聖な命のわたしたちの内側での動機づけ、またわたしたちの生活におけるその表現を指しており、それはわたしたちの振る舞いにおいて、人と神の目に甘美で受け入れられるものとなります：

- A. 恵みは、わたしたちの享受のための手順を経た三一の神であり、わたしたちの神との親密な交わりと神に対する感覚の中で、わたしたちの内側の動

機づけと外側の表現となります。わたしたちはみな、どのようにして恵みを得るか、すなわち、どのようにして恵みを取り、恵みを所有し、恵みを用い、恵みを適用するかを、学ばなければなりません——ヘブル 12:28。

B. 手順を経た三一の神は、わたしたちが受け入れ享受する恵みであり、わたしたちの聖なる生活と召会の集会で表現されて、人が見ることができるものとなります——使徒 11:23。

C. わたしたちが召されたのは、苦難のただ中でキリストを恵みとして享受し表現し、キリストの神・人の生活にしたがって、わたしたちの原型であるキリストの複製、ゼロックスコピーとなるためです——Ⅰペテロ 2:20-21。

Ⅶ. 命の恵みは、信者が強くても弱くても、すべての信者の嗣業^{しぎょう}です——Ⅰペテロ 3:7：

A. 命の恵みとは、わたしたちの命また命の供給としての神聖な三一における神です。すなわち、御父は命の源であり、御子は命の経路であり、その霊は命の流れであって、わたしたちの内側を、御子と御父と共に流れ、わたしたちの恵みとなります——ヨハネ 7:38-39、啓 22:1。

B. わたしたちは命の恵みを受け継ぐ相続人であり、命の恵みを入れる器です——Ⅰペテロ 3:7、エペソ 1:14、Ⅱコリント 4:7。

Ⅷ. 神のさまざまな恵みは、神のさまざまな恵みの豊富を指しており、聖徒たちが互いに供給し合うものです——Ⅰペテロ 4:10：

A. 神のさまざまな恵みとは命の豊富な供給であり、多くの面でわたしたちの中へと供給される三一の神です——Ⅱコリント 13:14、12:9。

B. わたしたちは神のさまざまな恵みの良い家令となって、神の託宣としての恵みの言葉を語り、神が供給する恵みの強さと力を供給する必要があります——Ⅰペテロ 4:10-11、ルカ 4:22、エペソ 3:2、4:29。

Ⅷ. 神はへりくだる者に恵みを与えますが、高ぶる者に敵対します——Ⅰペテロ 5:5：

A. 召会生活の中で、わたしたちはみな互いに謙そんの帯を締め、恵みを与える方としての神を享受する必要があります——参照、ヨハネ 13:3-5。

B. 謙そんはわたしたちを、あらゆる種類の破壊から救い、神の恵みをもたらしますが、高ぶりはわたしたちを最高の愚か者にします——ヤコブ 4:6、詩 138:6、箴 29:23。

C. わたしたちは、神の取り扱いにおける力ある御手の下に進んでへりくだらされ、低くなって、わたしたちの生活とその心配事を神に投げかけなければなりません。なぜなら、彼は愛と信実をもって、わたしたちを顧みてくださるからです——Ⅰペテロ 5:5-7、参照、詩 55:22。

- IX. 「あらゆる恵みの神」、すなわち信者たちをご自身の永遠の栄光の中へ召した方は、彼らの苦難を通して、彼らを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけてくださいます。この「あらゆる恵み」とは、「神の真の恵み」であり、信者たちはこの恵みの中へと入り、その中に立つべきです——Ⅰペテロ 5:10, 12。
- X. 神の真の恵みとは、わたしたちの主また救い主イエス・キリストの恵みと知識であって、その中で信者たちは成長するべきです。それは、彼の栄光が今も、また永遠の日に至るまでも、彼にあるためです——Ⅱペテロ 3:18:
- A. これは使徒ペテロの文書の結びの言葉であり、彼が書いたことは何であれ、神の恵みに属し、その中にあり、それにより、それを通してであることを示します。
- B. 神のエコノミーにおける恵みの産物は、神の詩としてのキリストのからだであり、それは新エルサレムとなり、新しい天と新しい地にある神の義の究極的完成となります——エペソ 2:7-10. Ⅱペテロ 3:13。
- C. 神の恵みの豊富、すなわちわたしたちの享受のための神ご自身の豊富は、あらゆる制限を超越しており、公に展覧されて永遠に至ります——エペソ 2:7。

**神のエコノミーのために、神の統治の下で、
クリスチャン生活と召会生活をする**

メッセージ 6

**神聖な性質にあずかり、神聖な命と神聖な性質を発展させ、
永遠の王国へと豊かに入る**

聖書：Ⅱペテロ 1:1, 3-11, 3:18

I. 同じ尊い信仰を受けた者として、わたしたち、キリストにある信者は、神聖な性質にあずかる者となるべきです——Ⅱペテロ 1:4：

- A. 神聖な性質とは、神が何であるか、すなわち、神の存在の豊富と要素と構成とを指しています——ヨハネ 4:24, Iヨハネ 1:5, 4:8, 16。
- B. 神聖な命と神聖な性質は、分離することができません。神聖な性質は神聖な命の実質であり、神聖な命の内側にあります——1:1-2, 5:11-13。
- C. 神の子供たちとして、わたしたちは神・人であり、神から生まれ、神の命と性質を所有し、神の種族に属します——3:1, ヨハネ 1:12-13：
 - 1. わたしたちの再生の時、別の性質がわたしたちの中へと分け与えられました。これは神の性質、神聖な性質です——Ⅱペテロ 1:4。
 - 2. 神聖な性質は神聖な命の中にあるので、わたしたちがそれをもって再び生まれた神聖な命は、神聖な性質をその内側に持っています——ヨハネ 3:3, 5-6, 15。
 - 3. 神の御子の中へと信じる者はだれでも神から生まれており、神の子供となる権利を持っています。ですから、信者は、神の性質にあずかり享受する権利を持っています——1:12-13。
- D. 神聖な性質にあずかる者とは、神聖な性質を享受し、また神聖な性質に分を持つ人です——Ⅱペテロ 1:4：
 - 1. 神聖な性質にあずかるとは、神が何であるかを享受することです。神聖な性質にあずかる者となるとは、神の存在の豊富と要素と構成にあずかる者となることです——Ⅰペテロ 1:8。
 - 2. わたしたちは神聖な性質にあずかる者となろうとするなら、神聖な命によって生きる必要があります。この命の内側には、神聖な性質があります——ヨハネ 1:4, 10:10, 11:25, 6:57 後半。
- E. わたしたちは神聖な性質の豊富を、神の尊く、際立って偉大な約束を通して享受します——Ⅱコリント 12:9, マタイ 28:20 後半, エペソ 3:20。
- F. 神聖な性質にあずかる者となることには、条件があります。それは、わたしたちが情欲によるこの世の腐敗から逃れることです。わたしたちは逃れることとあずかること、あずかることと逃れることの循環の中に、生きる必要があります——Ⅱペテロ 1:4。

G. わたしたちは神を享受し、彼の存在の豊富にあずかるなら、神聖な性質で構成され、神格においてではなく命と性質において神と同じになり、わたしたちであるすべて、またわたしたちが行なうことすべてにおいて彼を表現します——Ⅱペテロ 1:3。

H. わたしたちが神聖な性質にあずかり、神であるすべてを享受するとき、神聖な性質の豊富は完全に発展します。それはⅡペテロ第1章5節から7節に記述されているとおりです。

II. 神聖な種はすでにわたしたちの中へとまかれており、わたしたちは、この神聖な種の中に含まれている、神聖な命と神聖な性質の発展を経験する必要があります。それは、わたしたちが永遠の王国へと豊かに入るためです——Ⅱペテロ 1:1, 4-11:

A. わたしたちは、すばらしい、同じ尊い信仰をすでに割り当てられました。この信仰はすべてを含む種です——1節:

1. すべての神聖な豊富はこの種の中にありますが、わたしたちは勤勉になってそれを発展させなければなりません。成長して円熟することは、わたしたちがすでに持っているものを発展させることです——1-8節, 3:18。

2. これらの美德を発展させることによって、わたしたちは命において成長し、最終的には円熟に達し、キリストに満ち、また資格づけられ装備されて、来たるべき王国で王となります——エペソ 4:13-15, コロサイ 2:19, Ⅱペテロ 1:11。

3. わたしたちは完全な発展と円熟を持つ必要があります。それは信仰の種から、美德や知識という根、自制という幹、忍耐や敬虔^{けいけん}という枝々を通して、兄弟愛や愛という花と実へと至ります——5-7節。

B. 信仰に美德を供給するとは、同じ尊い信仰を活用して、美德を発展させることです。すなわち、神聖な命の力が、活力のある行動を生み出すことです。この信仰は活用されて、神聖な命の美德が発展して次の段階に至り、円熟に達する必要があります——5節前半。

C. 美德は、神とわたしたちの主イエスに対する知識の満ちあふれる供給を必要とします。わたしたちが美德の中で発展させるべき知識は、神とわたしたちの救い主に対する知識、神のエコノミーに対する知識、信仰とは何であるかに対する知識、神聖な力、栄光、美德、性質、命に対する知識を含みます——5節後半。

D. 自制は、自己の情感と願望と習慣に対して制御や抑制を行使することです。そのような自制は、命における正常な成長のために、知識において行使される必要があります——6節前。

- E. 忍耐を行使するとは、人と環境を耐え忍ぶことです——6 節中。
- F. 敬虔は、神のようである生活、神を表現する生活です——6 節後。
- G. 兄弟愛(ヒラデルヒヤ)は、兄弟の愛情、すなわち、喜びと楽しみで特徴づけられる愛です。神の表現である敬虔において、この愛が供給される必要があります。それは、兄弟の関係を維持するため、この世に対するわたしたちの証しのため、実を結ぶためです——7 節前半。 I ペテロ 2:17. 3:8. ガラテヤ 6:10. ヨハネ 13:34-35. 15:16-17。
- H. わたしたちの内側の神聖な性質の究極的な発展は、愛「アガベ(agape)」です。このギリシャ語は新約の中で神聖な愛を指すのに用いられています。神聖な愛とは、神が彼の性質において何であるかです——II ペテロ 1:7 後半。 I ヨハネ 4:8, 16:
1. わたしたちの兄弟愛は、さらに発展して、さらに高貴で崇高な愛に至る必要があります——II ペテロ 1:7 後半。
 2. わたしたちは神聖な性質を享受するとき、割り当てられた信仰の神聖な種を発展させ、神聖で高貴な愛においてその究極的完成に至る必要があります——5-7 節。
 3. わたしたちは神聖な性質に極みまであずかるとき、愛としての神で満たされ、愛の人、愛そのものとさえなります——エペソ 3:19。
- I. 神聖な命の中で霊的な美徳を発展させ、こうして神聖な命の成長において前進することは、神がわたしたちを召して選んだことを、堅固なものとし、ます——II ペテロ 1:10。
- J. わたしたちは勤勉になって、神聖な命と神聖な性質の成長と発展を追い求め、永遠の王国へと豊かに入るべきです——10-11 節:
1. わたしたちが神聖な命と神聖な性質の発展において享受する満ちあふれる供給は(3-7 節)、わたしたちをあふれるばかりに供給して、わたしたちの主の永遠の王国へと豊かに入らせます。
 2. この供給は、わたしたちを来たるべき王国へと入らせることができ、資格づけます。それは、神の輝く栄光に至るわたしたちの卓越した美徳(力)としての、神聖な命と神聖な性質のすべての豊富によってです——3 節。 I ペテロ 5:10。
 3. 一見すると、わたしたちが永遠の王国へと入ります。実は、永遠の王国へと入ることは、わたしたちの命における成長と、わたしたちの内側にある神聖な命の発展とを通して、わたしたちに豊かに供給されることによります。